

急性呼吸器感染症(ARI)とは

急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)とは、急性の上気道炎（鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎）又は下気道炎（気管支炎、細気管支炎、肺炎）を指す病原体による症候群の総称です。

インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

ARIサーベイランスの目的と実施体制

- ・目的：流行しやすいARIの発生動向を把握し、未知の呼吸器感染症が発生・増加し始めた場合に、迅速に探知することを目的としています。
- ・患者数の把握：宮城県では、ARIの流行状況を把握するため、指定された55か所の定点医療機関から、ARI患者数について毎週報告を受けています。
- ・病原体の把握：病原体定点として指定された6か所（宮城県3、仙台市3）の医療機関において、ARIの症例定義に合致した患者からランダムに検体（咽頭ぬぐい液、鼻汁など）を採取し、宮城県保健環境センター、仙台市衛生研究所で検査を実施しています。
- ・病原体検査：12種類のウイルス（下記）を対象に、リアルタイムPCR装置で遺伝子検出を行っています。

検出対象ウイルス

- ・インフルエンザウイルスA型、B型
- ・新型コロナウイルス
- ・RSウイルスA型、B型
- ・パラインフルエンザウイルス1～4型
- ・ヒトメタニューモウイルス
- ・ライノウイルス/エンテロウイルス



- 流行している病原体（ウイルス）の把握
- 未知の病原体の発生を探知